

# 岡崎乾二郎 而今而後 ジコンジゴ Time Unfolding Here

2025年4月29日(火・祝) - 7月21日(月・祝)

このたび、東京都現代美術館は、日本を代表する造形作家である岡崎乾二郎（1955-）の核心に迫る大規模な展覧会を開催します。

絵画、彫刻のみならず、建築や環境文化圏計画、絵本、ロボット開発などの幅広い表現領域でも革新的な仕事を手がけ、さらには文化全般にわたる批評家としても活躍してきた岡崎乾二郎。その活動の根底には私たちの「認識」と「世界」を結び直す力としての「造形」があります。

AIをはじめとする科学技術の革新、環境危機、政治状況の混沌…。私たちが捉えてきた世界、社会を制御してきた制度は急速に失効しつつあるように思えます。世界は崩壊しつつあるのでしょうか。

しかしその問いに対し、岡崎は、「世界は崩壊しているのではない。動揺しているのは私たちの認識である。」と言います。岡崎にとっての「造形」とは、私たちが世界を捉える、その認識の枠組み自体を作り変える力です。すなわち、認識を作りかえることで世界の可塑性を解放し、世界との具体的な関わりを通して認識の可塑性を取り戻すことです。造形とは、この二つの可塑性を実践的に繋ぎなおすことだと彼は言います。近年国際的な評価も高まるこの作家が大きく転回した2021年以降の新作を中心として、過去の代表作を網羅しつつ、その仕事の全貌を展望します。

——なんどでも世界は再生しつづける。而今而後（これから先、ずっと先も）。



01



02

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・大塚

TEL：03-5245-1134（直通） / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## みどころ

### 1. 日本を代表する造形作家・岡崎乾二郎の集大成

1980年代初頭、「あかさかみつけ」シリーズで注目を集めて以来、絵画、彫刻から建築まで複数のメディアで展開してきたその造形的な仕事を総覧します。教育、批評、ロボット開発、環境文化圏計画…。それぞれの分野での革新性ゆえに、その全貌の把握が困難であった岡崎の仕事を、その根底に一貫する造形という主題から総覧します。



07



08



09



参考：  
岡崎乾二郎《なかつくに公園 タブサの田》（総領町）  
2007（2021年撮影）



参考：  
岡崎乾二郎  
左《T.T.T.Bot (Turning Table Tripod Robot)》  
2015  
右《若草／二八十一不在國・kusa》《若草／二八十一不在國・kawa》《巻きそめ／二八十一不在國・hama》《巻きそめ／二八十一不在國・kiji》《手枕／二八十一不在國・tama》《手枕／二八十一不在國・kura》  
2019 | 各 41.3×56.5cm (6 枚組) | アクリル、紙 | 個人蔵 Photo: Shu Nakagawa

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・大塚

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 2. 2021 年以降に制作された新作群を一堂に発表

本展覧会のタイトルは、「而今而後（これから先、ずっと先も）」という『論語』の一節から取られました。2021 年以降、岡崎乾二郎は社会的な情勢と個人的経験の二つの変化のなかで、思考を位置づける時空の枠組みについて、大きな転回を迎えたと言います。本展では、それ以降、旺盛な活動期に入った作家の新作・近作約 100 点を発表します。



03



04



05



06

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・大塚

TEL：03-5245-1134（直通） / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 岡崎乾二郎（おかざき・けんじろう）

造形作家、批評家。

1955年東京生まれ。1982年パリ・ビエンナーレ招聘以来、数多くの国際展に出品。総合地域づくりプロジェクト「灰塚アースワーク・プロジェクト」の企画制作、「なかつくに公園」（広島県庄原市）等のランドスケープデザイン、「ヴェネツィア・ビエンナーレ第8回建築展」（日本館ディレクター）、現代舞踊家トリシャ・ブラウンとのコラボレーションなど、つねに先鋭的な芸術活動を展開してきた。東京都現代美術館（2009～2010年）における特集展示では、1980年代の立体作品から最新の絵画まで俯瞰。2014年のBankART1929「かたちの発語展」では、彫刻やタイルを中心に最新作を発表した。長年教育活動にも取り組んでおり、芸術の学校である四谷アート・ステュディオム（2002～2014年）を創設、ディレクターを務めた。2017年には豊田市美術館にて開催された『抽象の力ー現実（concrete）展開する、抽象芸術の系譜』展の企画制作を行い、2019～20年には同美術館で大規模な個展「視覚のカイソウ」が開催された。

著書に『而今而後 批評のあとさき（岡崎乾二郎批評選集 vol.2）』（亜紀書房 2024年）、『頭のうえを何かが』（ナナロク社 2023年）、『絵画の素 TOPICA PICTUS』（岩波書店 2022年）、『感覚のエデン（岡崎乾二郎批評選集 vol.1）』（亜紀書房 2021年）、『抽象の力 近代芸術の解析』（亜紀書房 2018年）、『ルネサンス 経験の条件』（文春学藝ライブラリー、文藝春秋 2014年）、『芸術の設計 一見る/作ることのアプリケーション』（フィルムアート社 2007年）。『ぼぱーべ ぼびぱっぷ』（絵本、谷川俊太郎との共著、クレヨンハウス 2004年）。作品集に『TOPICA PICTUS』（urizen 2020年）、『視覚のカイソウ』（ナナロク社 2020年）。

『感覚のエデン（岡崎乾二郎批評選集 vol.1）』にて2022年、第76回毎日出版文化賞（文化・芸術部門）受賞。『抽象の力 近代芸術の解析』にて、2018年、平成30年度（第69回）芸術選奨文部科学大臣賞（評論等部門）受賞。



10

## 展覧会概要

展覧会名	岡崎乾二郎 而今而後 ジコンジゴ Time Unfolding Here
会期	2025年4月29日(火・祝) - 7月21日(月・祝)
開館時間	10:00 - 18:00 (展示室入場は閉館の30分前まで)
休館日	月曜日 (5月5日、7月21日は開館)、5月7日
会場	東京都現代美術館 企画展示室 1F/3F
観覧料	一般 2,000円 / 大学生・専門学校生・65歳以上 1,400円 / 中高生 800円 小学生以下無料
主催	東京都現代美術館 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
問合せ	03-5245-4111 (代表)
企画	事業企画課 企画係 藪前知子

## 同時開催の展覧会

- MOT Plus サウンドウォーク・コレクティブ & パティ・スミス | コレスポネンズ 4月26日(土) - 6月29日(日)
- MOT Plus ハン・ネフケンス財団との共同プロジェクト シャハナ・ラジャニ 4月29日(火・祝) - 6月29日(日)
- MOT コレクション 4月29日(火・祝) - 7月21日(月・祝)

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・大塚

TEL：03-5245-1134 (直通) / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 広報用図版

広報用図版として 10 点をご用意しております。画像の利用は、展覧会の広報・紹介を目的とする新聞・雑誌その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記事内のご使用に限ります。お貸出しをご希望の方は、下記の貸出条件をご確認の上、必要事項とあわせて図版番号をメール（[mot-pr@mot-art.jp](mailto:mot-pr@mot-art.jp)）にてご連絡ください。\*参考画像は特集媒体のみ提供いたします。

**必要事項** 御社名／ご担当者名／貴媒体名（ジャンル）／発売・放送予定日

### 貸出条件

- 画像には作品情報（作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト）を併記してください。
- 画像のトリミング、文字載せ、色彩変更、編集その他の改変はご遠慮ください。
- 記事の掲載前に校正原稿をお送りください。また、記事の掲載後には掲載誌（紙）、ウェブサイトの URL、DVD、CD 等をお送りください。
- 記事の転載その他のお貸出しした画像データの二次使用はお断りしております。使用後はかならずデータを削除してください。



01

岡崎乾二郎

《Heads poking out, a shape with lion body and man's head. A gaze blank and pitiless as the sun. Embankment crowded, a vast image troubles my sight. Everyone shouting, voices affectionate, half-crying. We're all gonna die. Darkness drops again. I heard ducks floating.

Black rocks absorbed light. Was I all along born on the far shore? Cave pitch dark. Colors fade. Stretch out a hand. World already ended.

Spread legs. Never to perish again. Only a presence – the subtle movement of air as someone searched. Solely ephemeral presence lingers. I remember who I am. Earthquake shook. Sun black as sackcloth. Moon like blood. Stars fell to earth, fig tree dropping unripe fruit. Sky split apart, mountains and islands moved. Kings, slaves shouted, "Hide us from the throne, from the Lamb's wrath." Their day has come. I'm gonna faint!》

2024 | 260.6×268.2 cm | アクリル、カンヴァス

Photo: Shu Nakagawa



02

岡崎乾二郎

《"What secrets lie within!" Moon pearls crowned garden walls. "Look how shadows dance!" Hark, Wind whispered phantom tales. "Stars sang memories deep. "Time weaves silver dreams!" she shouted joyfully, "He lives!" And from the mountains the echo came back upon her, "he lives!"

"Is the spring coming?" Dawn mist cloaked emerald hills. "Do you have a garden?" Roses climbed ancient walls. "What makes the grass grow?" Rain whispered to the earth. "Where do old tales rest?" Time slept in shadows where moorland flowers bloom and fade.》

2024 | 208.0×117.0 cm | アクリル、カンヴァス

Photo: Shu Nakagawa

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・大塚

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：[mot-pr@mot-art.jp](mailto:mot-pr@mot-art.jp) URL：<https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



03

岡崎乾二郎

《But in truth, the first creatures were driven from the sea. They fled. That's why so many of us get seasick. A mudskipper crawled onto the beach, raising its head. "Look," he said, beholding the vast expanse. "Thousands of miles of flat nothing." Fish swim through water endlessly; no end to the water they swim. Birds fly through sky ceaselessly; no end to the sky they fly.

There is no reason. We skipped the light fandango, though in truth we were at sea. She said, "I'm home" leaving for the coast.

Darkness covered the empty earth; The Spirit hovered over waters. Let there be waters teeming with life, birds multiplying on earth. All that moves in sea and sky, each according to its kind, merely drifted through the world. Evening fell, then dawn broke.》

2024 | 182.0×260.7 cm | アクリル、カンヴァス

Photo: Shu Nakagawa



04

岡崎乾二郎

《耳を押し当てその向こうの気配を探る。ペールは柔らかな襪を作って、顔に落ち、神秘的で触れられない何かを感じさせる。花嫁のペールほど美しいものはない、透明で儚く脆いのは純粹だから。次の日、彼女は花嫁のペールを買いに行った。

雨が降れば夏になる。丘の頂から湖が見えた。夏はどこにいるのだろうか。見晴らしてもすべては春のまま。スマレの花びらは雨を欲して萎れ、身を窄めていた。

何週もの遅れを取り戻そうと冷たい春のあと、暑い夏が慌てて訪れる。リネンの清らかな香りは婚礼のための白い布の束、仕上げのアイロンがけを待っている。

石畳の街に、太陽が降り注いでも石は決して花に変わらず、白壁の家が緑に覆われるわけでもない。太陽は街のあちこちの小さな公園にただ夏の装いをさせる。夏は公園の芝生にも自由に伸びることを許さず、いつも短く刈り揃えられていた。》

2024 | 224.0×363.5 cm | アクリル、カンヴァス

Photo: Shu Nakagawa



05

岡崎乾二郎

《Examine The Tone And Reasoning Too; Consider The face, How It Changes Hue/  
聆音察理，鑒貌辨色》

2024 | 59.0×47.0×38.0 cm | 人工大理石 | 桶田コレクション蔵

Photo: Shu Nakagawa



06

岡崎乾二郎

《The Salt Of The Sea, Rivers Fresh, Scales Lurking Below, Wings Soaring Above/  
海鹹河淡 鱗潛羽翔》

2024 | 89.7×118.9×108.4 cm | 人工大理石

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・大塚

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



07

岡崎乾二郎

《あかさかみつけ》

1981 | 27.5×25.0×17.5cm | アクリル、ポリエチレン | 高松市美術館蔵

Photo: Shu Nakagawa



08

岡崎乾二郎

《まだ早いが遅くなる》

1986 | 224.0×176.0 cm | 綿布、絹 | 大原美術館蔵



09

岡崎乾二郎

左《山の向こうの中腹のちっぽけな村はすでに見えなくなり、ふたたび春が巡ってきた。葡萄の木はあたかも塀の笠石の下を匍う病める大蛇のように見える。生あたたかい空気のなかを褐色の光が動きまわっていた。似たりよったりの毎日が作りだす空白は伐り残した若木まで切り倒すだろう。日々の暮らしのなかで樹木の茂みは岩のように突き出ている。》

右《自分の暮らした村がこんなに小さく思われたことはない。太陽が姿をみせた。背の高いポプラの林は風に吹き動かされる砂浜のような格好をしている。切れ目のないその連続を見ているだけで眼がくらんでくる。変り映えない日々の連続に酔うことができたなら象や蛇をしとめた気にもなれる。蝶が舞うようにそんな風に彼はものを識ったのである。》

2002 | 各 180.0×130.0 cm (2点1組) | アクリル、カンヴァス | 東京都現代美術館蔵

Photo: Ichiro Otani



10

Photo: Risaku Suzuki

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・大塚

TEL：03-5245-1134（直通）/ FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。